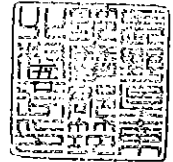




筑建第493号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

筑北村長 関 森 省



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（報告）

このことについて、別紙により報告しますので検収願います。

記

1. 今後の道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など （様式1）
2. 今後の道路行政についての意見・提案
 - ②-1 地域の現状と抱える課題 （様式2）
 - ②-2 地域の目指すべき将来像 （様式3）

今後の道路行政についての意見・提案

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①
長野県 筑北 村

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価	○その他
・地域の自立・活性化の向上	・国道403号安曇野市～筑北村間の新矢越トンネル事業	・災害～人命を守り、年間を通して安全な通行を可能とする。 ・通勤・通学・通院等の利便性の向上を図ることができる。 ・若年層の流出や少子高齢化現象の進行に歯止めをかける。 ・救急医療において、時間が短縮されることにより、広域の明科消防署との応援体制を図れる。	・平成16年の災害時より今日まで、県道大町麻績インター千曲線は大型車の通行止めが継続している状況において、国道403号線は迂回路として筑北地域より国道19号への接続には唯一の路線になっていきます。大型車の交通量が増え、勾配もきつ、山あいを通る峠道のため、勾配もきつ、急カーブが続く状況で、接触事故等も多く、安全に走行できる道路の改良が求められています。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

長野県筑北村

○現状 ・現在村道は、546路線、実延長318kmとなっています。幹線道路改良率は約80%、その他道路改良率31%となっており、その他路線の未整備が目立っています。 ・国道2路線・県道6路線あり、順次国・県に要望し改良整備をすすめています。 ・道整備交付金事業を継続中	○課題 ・道路行政は未整備路線の改良をすすめ、幹線道路・橋梁の維持補修に重点を置き、道整備交付金事業等の補助事業を取り入れた中で新規事業を行う。 ・国道403号線の滝上峡地籍は屈曲・幅員狭小のため交通のネックとなっているため、村の発展に大きな支障をきたしている。従って、国道403号線新矢越トンネルを最優先で行う。 ・小学校、中学校へ安全に通学できるように歩道の設置を優先的に行う。 ・道路特定財源の一般財源化に伴う事業の継続について
---	---

②-2 地域の目指すべき将来像

長野県筑北村

・魅力的な地域環境の形成と村の持続的発展のため、環境面、防災面に配慮しながら、道路の整備や生活環境整備等を進めます。

・村内の交流や周辺地域との連携強化に資するため、国道・県道等の主要道路の整備の促進を近隣市町村と連携し国・県等関係機関に働きかけます。

・地域の骨格となる幹線道路については、各地域の主要施設間のネットワーク化を促進するために、現況道路や既存の道路網計画を踏まえ、安全性、快適性に配慮した整備を進めます。

・生活に密着した道路は、景観に配慮した、潤いのある道路空間の創出及び安全性の観点から、歩道設置及びバリアフリー化、除雪対策、通学路の整備に努めます。

・村のシンボルでもある「四阿屋山」を観光の拠点として整備し、併せて豊かな自然と農林業の地場産業とも連携しながら都市との交流を目指す。

・点在する集落、旧村時代に整備した観光施設、神社仏閣などの観光資源を一体的にいかすためのアクセス道路網の整備を企画している。